

小平第二中学校における学校支援ボランティアの仕組み

学校支援ボランティア

選択授業

教科は主に英語、数学、個々の習熟度にあわせてかかわります。

総合的な学習の時間

福祉、キャリア教育、保育、園芸、国際理解、職場体験、人権教育、地域環境など、地域の人との触れ合いを通して、生きる力をはぐくみます。

家庭科

調理実習や裁縫の補助など、地域や保護者の方の協力をいただいて、中学生の自然な様子に心が通います。

放課後学習

質問教室、定期テスト、英語検定への対策、パソコン指導、不登校の生徒を中心とした個別指導など、先生やボランティア、保護者の声かけに、部活動と両立させながら意欲的に学習できます。



選択授業風景



福祉の授業風景



保育の授業風景

生活・安全支援

あいさつや声かけを通して、生徒の安全を見守り、基本的な生活態度を支援します。

部活動支援

主に、運動部の活動を支援します。

図書ボランティア

図書貸し出しなど、図書活動を支援します。

地域教育サポート・ネット事業について

小平市教育委員会では、東京都からモデル地区の指定を受け、平成14年度から3年間、二中地区の4校を対象に学校支援ボランティア及びコーディネーターの養成などを目的に事業を実施。平成17年度からは、小平市単独事業として継続実施し、二中地区以外の学校への拡大も図っているところです。

このような5年間の取組を行ってきた結果、学生ボランティアや社会人の学校支援ボランティアはもちろん、保護者や地域の方にも理解の輪が広がりつつあります。

地域教育連携推進事業 (プラットフォーム事業)について

小平市教育委員会では、東京都から家庭教育重点支援モデル地区の指定を受け、平成17年度から不登校児童や問題行動を抱える子どもたちへの支援や、家庭教育力の向上を支援する取組を行ってきました。

具体的には家庭教育支援のための冊子「親子のきずなを深めるブックレット」や「冬休みの生活のしおり」などを作成しました。スクールカウンセラーを中心に「学校を休みがちな子のこれからについて考える親の会」を定期的に開催しています。また、東京学芸大学との連携を図り、学校現場の課題を研究し、その結果を学校現場にフィードバックする仕組みづくりの構築を目指しています。

「子どもの生活習慣改善プロジェクト」 についてのお知らせ



東京都教育委員会では、平成18年度の重点事業の一つとして、子どもたちの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムを向上させるとともに、家庭の教育について不安や悩みを持つ保護者や、地域において孤立しがちな親等を様々な分野から支援するために、「子どもの生活習慣改善プロジェクト」事業を実施します。

PTA、学校、地域、区市町村、関係企業・団体等の関係者からなる「子どもの生活習慣改善東京都協議会」(仮称)を設置して、企業や団体等へ事業の協力要請などを行うとともに、これまでの社会教育行政では対応することができなかった層へのアプローチを目的とした全都的キャンペーンの実施、東京都教育の日を中心としてのモデル地域を指定した取組(11月)、親子で参加できる記念フォーラム(12月)などを行い、子どもたちの生活習慣確立を社会全体で取り組むことの必要性について、喚起を促すこととしています。